

令和4年度 徳島市防災会議 開催結果について

1 日時

令和5年2月13日（月）14:00～15:00

2 場所

徳島市役所 13階 大会議室

3 出席者

42人

- ・会長 1人（市長）
- ・委員 35人（委員数46人）
- ・事務局 6人

4 会議内容

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議題 徳島市地域防災計画 令和5年修正(案)について

資料「徳島市地域防災計画 令和5年修正（案）について」に基づき、事務局から説明。その後、委員に諮り、原案のとおり承認を得た（質疑等無し）。

(4) 講演「震災の教訓から得た徳島市の克服すべき課題について」

危機管理局 防災対策課 吉田浩章課長を講師として、「震災の教訓から得た徳島市の克服すべき課題について」を演題として、講演を行った。

新潟県中越地震や東日本大震災、熊本地震の例などを紹介し、大規模災害時に自治体が直面する課題について、実際に東日本大震災や熊本地震の被災地で活動した経験から、

「大規模災害時は業務が膨大となり、また、職員自身も被災するため、人員の余裕はなくなる。他自治体の事例として、避難所運営等にマンパワーをとられたため、本来必要な情報収集や分析、意思決定が機能しなくなり、復旧・復興が大幅に遅れた例もある。行政は、行政にしかできないことに集中していく必要がある」

「人はピンチに陥ったとき、『誰か』を求める。職員も『誰か』を求めたくなるが、市民にとっての『誰か』は職員である。ゆえに、職員は、地域防災計画の中での役割を常に意識し、『誰か』を求めるのではなく、『誰か』になる自覚と覚悟を持つことが必要」など、職員に必要な心構えや考え方などの講演を行った。

(5) 閉会

5 開催状況

